

電測チャンネルテーブル編集ソフト

取扱説明書



1. 仕	様	1
1.1	概要	1
1.2	適用機種	1
1.3	対応チャンネルテーブル	1
1.4	PC環境	1
2. 使	用方法	2
2. 1	はじめに(重要)	2
2. 2	メニュー画面	2
2.3	新規作成	3
2.4	チャンネルテーブル作成・編集	4
2.5	チャンネルテーブル読み込み	5
2.6	チャンネルテーブル保存	6
2.7	測定設定・システム設定の読み込み	7
2.8	測定設定・システム設定の保存	8
2.9	保存先の指定について	9

1. 仕様

1.1 概要

本ソフトは、電測の地上波・CATV チャンネルテーブルをパソコン(以下 PC)上で作成、編集 を行うものです。Microsoft Excel上で動作するアプリケーションですので、基本的な使用 方法は Excel に準じた使用方法となります。

1.2 適用機種

LF985、LF985A、LF986、LF5x シリーズ、LF990

1.3 対応チャンネルテーブル

- ·地上波
- CATV

※ BS、CS のチャンネルテーブルは、本ソフトで編集を行うことができません。

1.4 PC環境

OS:Windows 7 / Windows XP (動作確認済) 動作確認済ソフト:Microsoft Office 2003 / 2007 / 2010

※ Windows 7 / Windows XP、および Microsoft Office Excel は、米国マイクロソフト社(Microsoft Corporation)の米国およびその国における商標または登録商標です。

2. 使用方法

2.1 はじめに(重要)

本ソフトを使用してチャンネルテーブルを作成する場合、あらかじめ必ず電測本体のチャン ネルのバックアップを行ってください。チャンネルテーブルの損失、破損等につきまして当 社では保証いたしません。

また、本ソフトは Excel のマクロ機能を使用しているため、セキュリティ設定により動作で きない場合があります。設定をご確認の上、ご使用下さい。

2.2 メニュー画面

「Channel_table_henshuu_verX_X.xls」(X_X はバージョン)を起動します。(※) シートの「メニュー」を選択すると、下記のような状態となります。

※ Microsoft Excel 2010 をお使いの方は、Excel を起動させてから「Channel_table_henshuu_verX_X.xls」のファイルを開いて下さい。

①形式		機種をプルダウンから選択します。					
②ファイルの場所		チャンネルテーブル・システム設定の読み込み先または、作成・編集した					
		チャンネルテーブル・システム設定の保存先を指定します。					
チャンネル	③読み込み	本体より一括コピーで読み出したチャンネルテーブル、もしくは USB メモ					
テーブル		リー(CF カード)内のチャンネルテーブルを編集します。					
	④新規作成	新しくチャンネルテーブルを作成します。					
	⑤全削除	この Excel 上に存在するチャンネルテーブルを全て削除します。					
	⑥保存	作成・編集したチャンネルテーブルを保存します。					
システム	⑦読み込み	本体より一括コピーで読み出したシステム設定を読み込みします。					
設定	⑧保存	システム設定の保存をします。					



2.3 新規作成

メニューで「新規作成」を選択すると、空白のチャンネルテーブルのシートが作成されます。 ①呼出し番号:電測内で使用される管理番号。電測で保存時に入力する名称ではなく、保存 位置番号を(PCではファイル名称)示します。(下図参照)



②名称:LF990でのプログラム名称を示します。(上図参照)
 ③チャンネルプラン:チャンネル名称や、周波数などを設定します。
 ④チャンネルテーブル:チャンネルテーブル毎にシートが作成されます。



2.4 チャンネルテーブル作成・編集

チャンネルテーブルを作成します。コピー+ペーストや、6 MH z ステップの増加しながらのコ ピーなど、基本的には Excel の使用方法で利用できます。

1No.		本ツール上の便宜的な通し番号(自動的に作成されます)。					
		最大200チャンネル。					
(2) ታ +	ァンネル名	電測本体で表示されるチャンネル名称。(最大4文字)					
③放;	送方式	チャンネルの放送方式。リストより選択。					
④周波	皮数	チャンネルの周波数。					
		既に周波数、放送方式が記載されている場合、放送方式に応じて周波数が自動的					
		に切り替わります(アナログ⇔デジタルの周波数切替)。					
オプ	(5) ANNEX	放送方式が「CATV デジタル」の場合に ANNEX の設定を行います。					
į	⑥変調方式	放送方式が「CATV デジタル」の場合に変調方式の設定を行います。					
ュン	⑦シンボルレート	放送方式が「CATV デジタル」の場合にシンボルレートの設定を行います。					
	(MSymbols/S)						



●注意

シートの内容を全てコピーして、別のシートを作成し貼付をしても、正しくチャンネル テーブルが作成されません。シートタブを選択してシートのコピーでは可能ですが、基 本的にはメニューの「新規作成」「読み込み」機能を使用してください。

●注意

・ シートの移動は絶対に行わないでください。

2.5 チャンネルテーブル読み込み

電測により既に存在するチャンネルテーブルを読み込み、編集することができます。

1) メニュー画面で「ファイルの場所」の読み込み先を"LF990"のフォルダ(※)に設定し、チャン ネルテーブルの「読み込み」を選択します。



- ※ 「形式」によって読み込み先は異なります。「形式」を選択した際に、「ファイルの場所」にフォルダが 指定されるので、そのフォルダを選択して下さい。
- 読み込みが完了すると、ファイルリストにチャンネルテーブルの一覧が作成されます。
 ファイル名をダブルクリックすると、チャンネルテーブルのシートが作成されます。

0	N.	Char	nnel_table_henshuu	ver1_2.xls	〔換モード] -	Microsoft Exce	el			. = x
	オーム 挿入	ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示	開発			🥝 –	□ X
127 -	(비 * 🗋 🛃 후									
	A2 🔻	∫ f≤ 00000	001.PRG							*
	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	-
1	ファイル名	名称	日付	時刻	1000					
->	00000001.PRG	LEADER CATV	2012/09/25	11:03:22						
3	00000002.PRG	LEADER TEST	2012/09/25	11:03:24						
4	00000003.PRG	JAPAN VHF+UHF	2012/09/25	11:03:24						
5										
6										
7										
8										
9		\frown								-
4 4 1	▶ ▶ テーブル一覧	(J71/1/2) 225	FL /XII-/	2/	1	4				14
עדב	۴ 🛅	\smile				[B 🛛 🛄 100	× 🕞 —		+ .;

	1		Channel_table_henshuu_ver	1_2.xls [互換モード]	- Microsoft Exc	cel	_ =	x
	リ ホーム	挿入 ページ レイア	ウト 数式 データ	校閲 表示	開発		@ _ = D	×
117 -	(* • 🗋 🖬	Ŧ						
	A2							¥
	A	В	С	D	E	F	G	-
1	呼出し番号		名称					
2	1	LEADER CATV		•				
3					-			
4	No.	チャンネル名	放送方式	周波数(MHz)		オブション		
5	1	1	VIDEO	91.25				
6	2	2	VIDEO	97.25				
7	3	3	VIDEO	103.25				H
8	4	014	CATVティシックル	117.00	ANNEX-C	64QAM	5.274	
9	5	C15	CATVテ゛シ゛タル	123.00	ANNEX-C	64QAM	5.274	
10	6	C16	CATVテ゛シ゛タル	129.00	ANNEX-C	64QAM	5.274	
11	7	C17	CATVテ゛シ゛タル	136.75	ANNEX-C	64QAM	5.274	
12	8	C18	CATVテッシックル	142.75	ANNEX-C	64QAM	5.274	
13	9	C19	CATVテッシックル	148.75	ANNEX-C	64QAM	5.274	
14	10	C20	CATVテッシュタル	154.75	ANNEX-C	64QAM	5.274	*
14 4	> > LEADER	CATV テーブル一覧	、ファイルリスト / システム	/\$ <u></u> \$	ht.	14		
771	15 P	/						-

※ Microsoft Office Excel 2003 をお使いの方は、チャンネルテーブルの容量によって シートの読み込みが一定数を超えると、チャンネルテーブルの読み込みができなくなります。

2.6 チャンネルテーブル保存

作成したチャンネルテーブルを USB メモリー等に書き込みます。

メニュー画面において、「ファイルの場所」を"LF990"のフォルダ(※)に設定し、「保存」を選択します。複数のチャンネルテーブル(シート)が作成されている場合は、全てのテーブルが保存されます。

	Channel_table_	henshuu_ver1_2.xls	[互換モード] -	Microsoft B	Excel		_ = X
🥶 ホーム 挿入 ページ	ジレイアウト 数式	データ 校閲	表示	開発			0 _ = ×
u) - (u - 🗋 🖬 =							
B6 ▼ (>	<i>f</i> F:¥LF990						*
チャンネルテーブル編集	チ・	ャンネルテーブ	ルのバック	ウアップ	を取ってから作	F業してくだ	さい -
形式	LF990						
ファイルの場所・	F:¥LF990					選択	
チャンネルテーブル	読み込み	新規作成	全削	涂	保存		
システム設定	読み込み	保存			`		
	ER TEST 🖉 JAPAN VI	HF+UHF /テーブル-	・覧 ファイル	リスト/シン	リーダ ステム メニュー	-電子㈱ V	er.1.2
אעקב 🔛					100%	0 0	.:

- ※ 「形式」によってフォルダは異なります。「形式」を選択した際に、「ファイルの場所」にフォルダが 指定されるので、そのフォルダを選択して下さい。 保存先の詳細は、「2.8 保存先の指定について」を参照して下さい。
- 2) 「OK」を選択すると、保存完了します。



2.7 測定設定・システム設定の読み込み

オートパワーオフや、スレッショルド設定(LF990のみ)などの設定を行い電測にコピーすることができます。チャンネルテーブルと同様に、電測本体からの読み込みを行って編集することもできます。

メニュー画面で「ファイルの場所」の読み込み先を"LF990"のフォルダ(※)に設定し、システム設定の「読み込み」を選択します。

■LF990

Channel_table_henshuu_ver1_2xls (互換モード) - Microsoft Excel _ ロ x									
😕 ホーム 挿入	ページ レイアウト 養	対式 データ 校	閲 表示	開発	🕜 _ = 🛪				
비 - (비 - 🗋 🛃 =									
D4 🔻	● fx 5分				×				
システム設定					-				
オートパワーオフ		5分			•				
<u>明るさ</u>		1							
ヒーフ音		オン							
<u>レンューム</u> データ保存		オフ							
<u>) ーン床仔</u> 言語		一般値のの							
測定単位		dBuV(75Ω負	荷)						
	th Liconty	5MHz	870	#Hz					
レベルオフセット	地上版UAIY	0.0	0.1]					
0 (00) 2001	BS/CS	950MHz	2600	MHz	-				
	00,00 四左曲	0.0	0.1)					
	1. 保充	目的							
マクロ測定	日期休任	しない							
	保存グループ名	DATA							
地上ニックル	BER測定	Pre	Pre						
地工デジタル 測定設定	MER/CN	MER							
	サンブル	1000	1000						
CATVデジタル 測定設定	サンブル数	4000							
	C/N MER	モード1							
00700/则注意处理	サンブル数	1000							
<u>CATV SHB設定</u>		設定1							
フレッシュルビ設定	2		下(80)	調査	上側剧値				
<u>アナログVIDEO</u>	IEVEL [dBuV]		1 [0]	60.0	90.0				
, , H , 1000	V/S [dB]			25.0	35.0				
アナログSOUND	LEVEL [dBuV]			60.0	90.0				
	V/S [dB]			25.0	35.0				
地上デジタル	LEVEL [dBuV]			45.0	90.0				
		BER(Pre)		1.0E-04	0.0E+00				
	64QAM 1/2	BER (Post)		1.0E-04	0.0E+00				
		U/N [dB]		16.0	21.0				
◀ ◀ ▶ ▶ テーブル一覧	ファイルリスト システム	MEK [88]		10.0	21.0				
אַלאַב 🔝				100% 😑	. 🕀 🔍				

■LF985, LF985A, LF986, LF5 ×

	Channel_table_henshuu	uver1_2.xls [互携	キモード] -	Microsoft	Excel				x
🐻 ホーム 挿入	、 ページ レイアウト 🕴	波式 データ	校閲	表示	開発		0		х
11) - (11 - 🗋 🛃 =									
C4 🔻	💿 🌆 OFF								¥
システム設定									
						_			
<u>オートパワーオフ</u>		OFF							
<u>ビーブ音</u>		オフ				Ţ			
照明点灯時間		連続							
レジューム		オフ							
印刷タイプ/BMP保存	7	数值表示							
レベル測定単位		dBuV(75	Ω負荷)						=
データ通信	Xバラメータ	有効							
	データ長	8ビット							
	バリティビット	なし							
	ストップビット	1ビット							
	ボーレート	9600				1			
BS/CSのCN測定		モード1				1			
CATVチャンネル周波	5数	設定1				1			-
< < ▶ ▶ テーブル一覧	<u>ファイルリスト</u> システム		7		14				1
ביעאב 🔝			-		100% 😑)		+	.::

※ 「形式」によって読み込み先は異なります。LF985, LF985A, LF986, LF5 x 場合は、「形式」を『LFxxx (内部)』 に選択し、「ファイルの場所」を設定して下さい。

2.8 測定設定・システム設定の保存

作成した測定設定・システム設定を USB メモリー等に書き込みます。

1) メニュー画面において、「ファイルの場所」を"LF990"のフォルダ(※)に設定し、システム 設定の「保存」を選択します。



※ 「形式」によってフォルダは異なります。LF985, LF985A, LF986, LF5 x 場合は、「形式」を『LFxxx(内部)』
 に選択し、「ファイルの場所」を設定して下さい。
 保存先の詳細は、「2.8 保存先の指定について」を参照して下さい。

2) 「OK」を選択すると、保存が完了します。

	Channel_table_l	nenshuu_ver1_2.xls	[互換モード] - Mic	rosoft Excel	_ = X
🤨 ホーム 挿入 ペー	ジ レイアウト 数式	データ 校閲	表示 開発	E.	🔞 – 📼 🗙
n - (n - 🗍 🖪 🚊					
▼ (?	<i>f</i> ∡ LF990				×
チャンネルテーブル編集	チ・	ャンネルテーブ	ルのバックア	ップを取ってから	作業してください 📔
形式	LF990	Ţ			
ファイルの場所	F:¥LF990	保存 〔〕	× 保存完了		選択 ■
チャンネルテーブル	読み込み	新規 [<u>ж</u> 除	保存	J
システム設定	読み込み	保存			
▲ ▲ ▶ ▶ テーブル 一覧 / ファイル!	121 / 3771 3-	1- /9]		y−.	ダー電子㈱ Ver.1.2
עראב 🔁 🔄				= 100	K 🕤 🛛 🕂 🕂

2.9 保存先の指定について

チャンネルテーブル、測定設定・システム設定を保存する場合、自動的に必要なフォルダが 作成されます。

●LF990 の場合

"¥LF990"、"¥BAK_PRG"、"¥BNK****"フォルダを作成し、その下に"呼出し番号.PRG"ファイル を生成します。

・保存先を USB メモリーに選択した場合

□ "¥USB メモリー"

- └ 🗋 "¥LF990" ←ここ以下の構造は自動的に作成される。
 - └ Ō "¥BAK_PRG"

 - :

●LF985, LF985A, LF986, LF5x の場合(外部)

"PRG"、"BNK****"、"BAK_PRG"フォルダを作成し、その下に"呼出し番号.PRG"ファイルを生 成します。

・保存先を CF カードに選択した場合(外部)

″¥CF カード″

- └ □ "¥PRG" ←ここ以下の構造は自動的に作成される。
 - └ 🗋 *"*¥BNK0000"
 - | | |- □ "0000001. PRG"

 - :

・保存先を CF カードに選択した場合(内部)

″¥CF カード″

└ 🗋 "¥BAK PRG" ←ここ以下の構造は自動的に作成される。

- ⊢ 🗋 ″0000001. PRG″
- ⊢ 🗋 ″0000002. PRG″
- :

LEADER

リーダー電子株式会社 http://www.leader.co.jp 本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東2丁目6番33号 (045) 541-2122 (代表)

制作年月日 2012 年(平成 24 年) 9 月 26 日 Ver.2 (SW Ver.1.2)